

サウンドレコーダーの使用法

まずヘッドフォン・マイクを挿す位置の紹介

ヘッドフォンを挿す位置



マイクを挿す位置

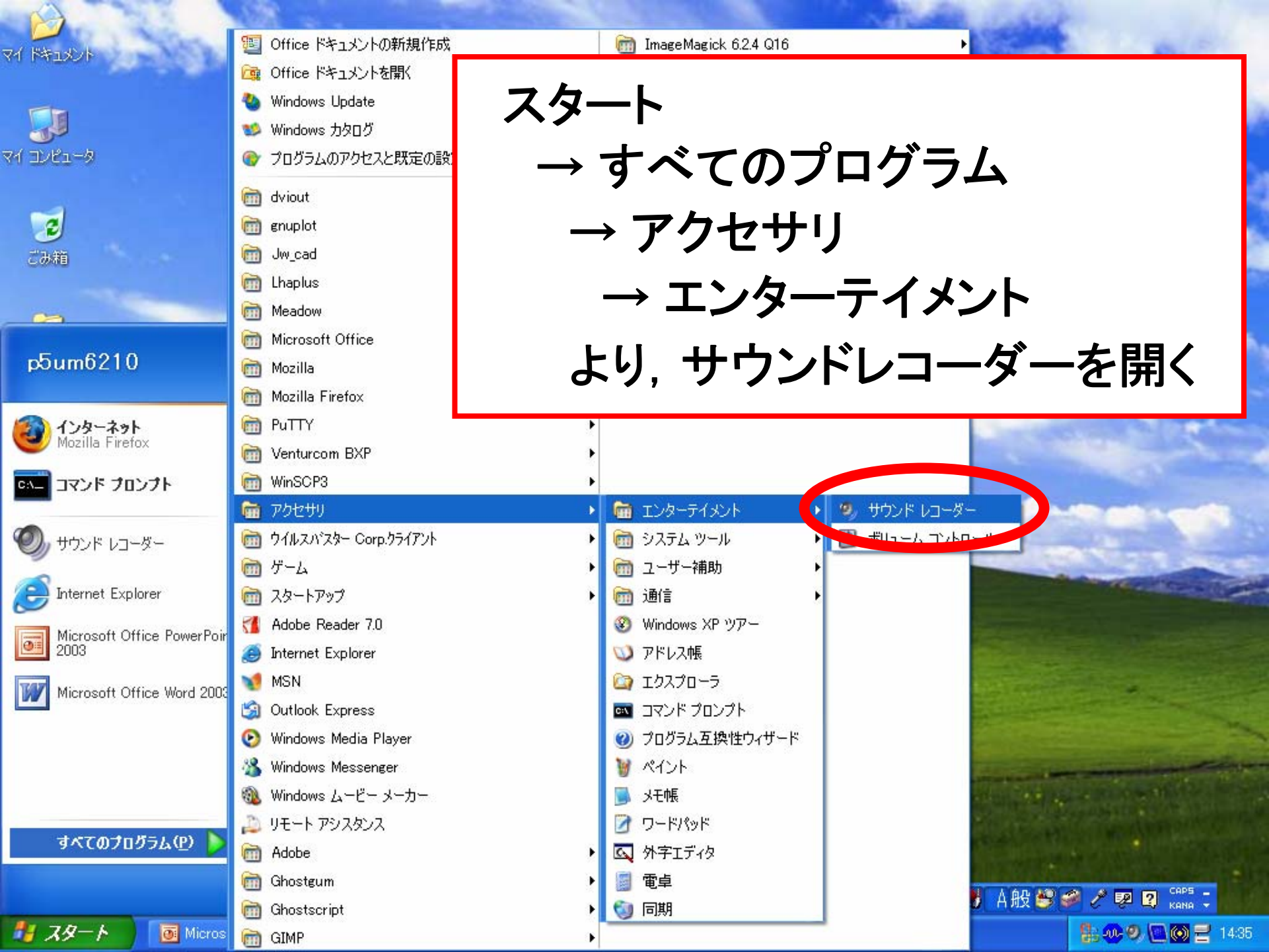
スタート

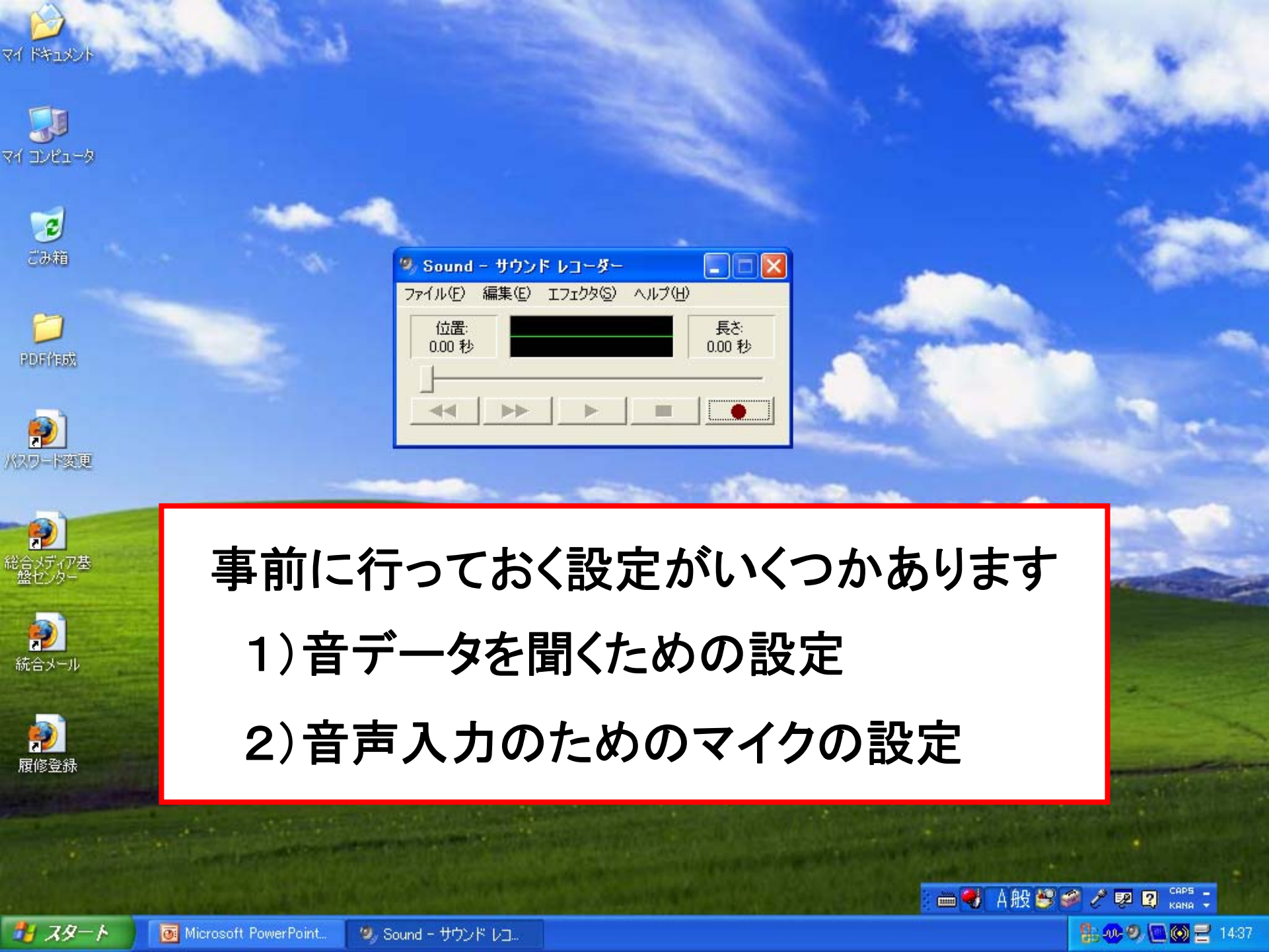
→ すべてのプログラム

→ アクセサリ

→ エンターテイメント

より, サウンドレコーダーを開く

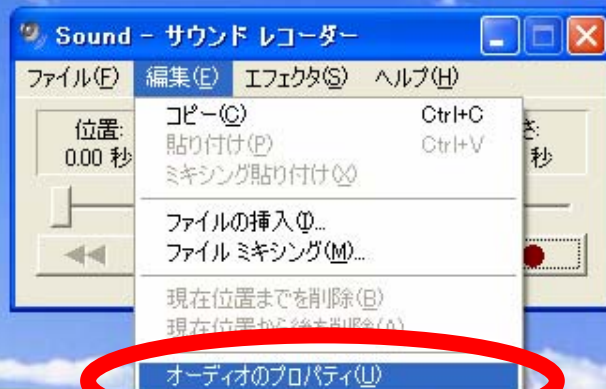




事前に行っておく設定がいくつかあります

- 1) 音データを聞くための設定**
- 2) 音声入力のためのマイクの設定**

まず音を聞くための設定をします



メニューバーの「編集」

→オーディオのプロパティを選択

オーディオのプロパティ

オーディオ デバイス

音の再生

既定のデバイス(D):
Realtek AC97 Audio

音量(V)... 詳細設定(N)...

録音

既定のデバイス(E):
Realtek AC97 Audio

音量(Q)... 詳細設定...

MIDI 音楽の再生

既定のデバイス(E):
Microsoft GS Wavetable SW Synth

音量(M)...

既定のデバイスのみ使用する(U)

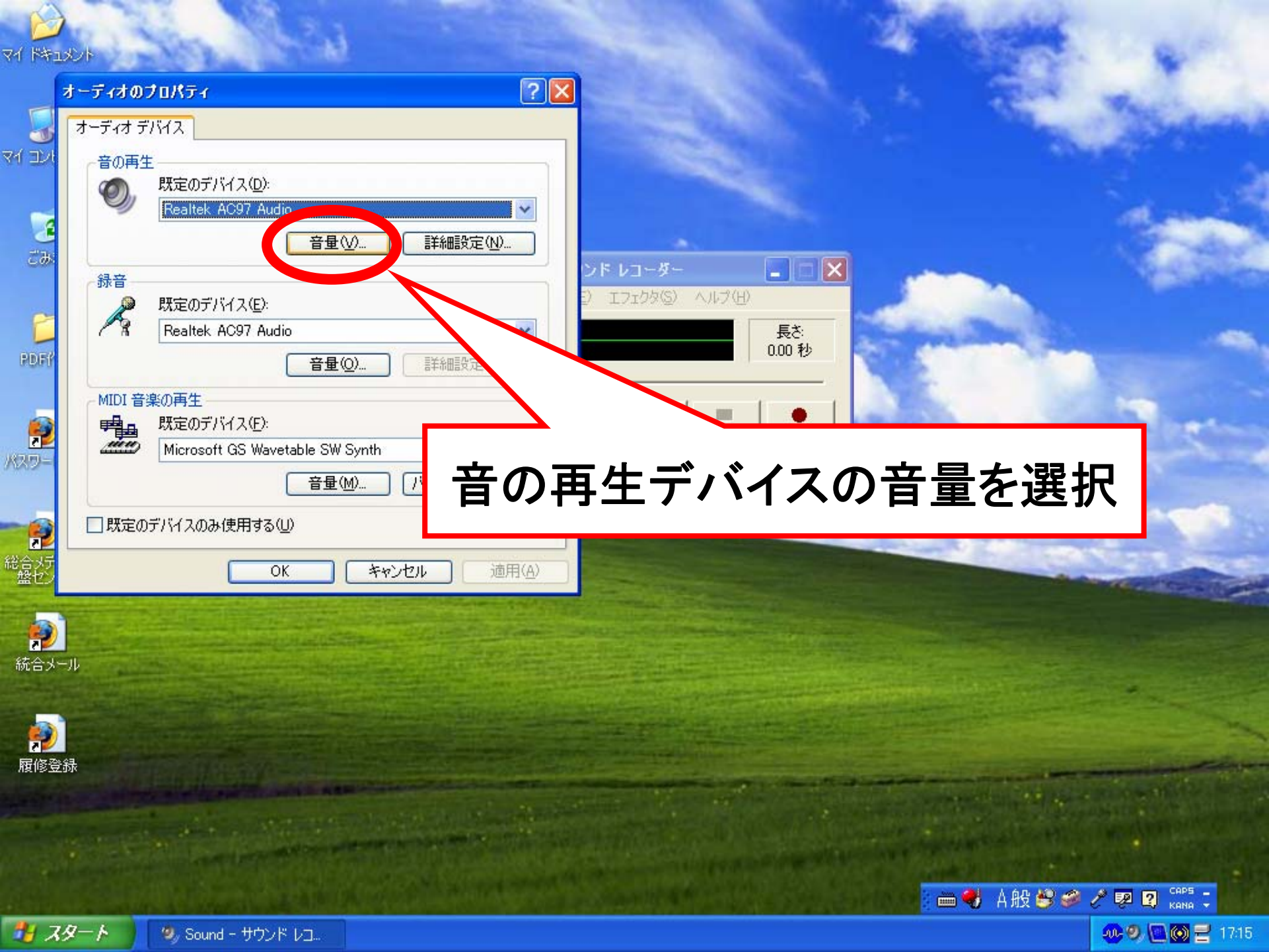
OK キャンセル 適用(A)

サウンドレコーダー

エフェクタ(E) ヘルプ(H)

長さ:
0.00 秒

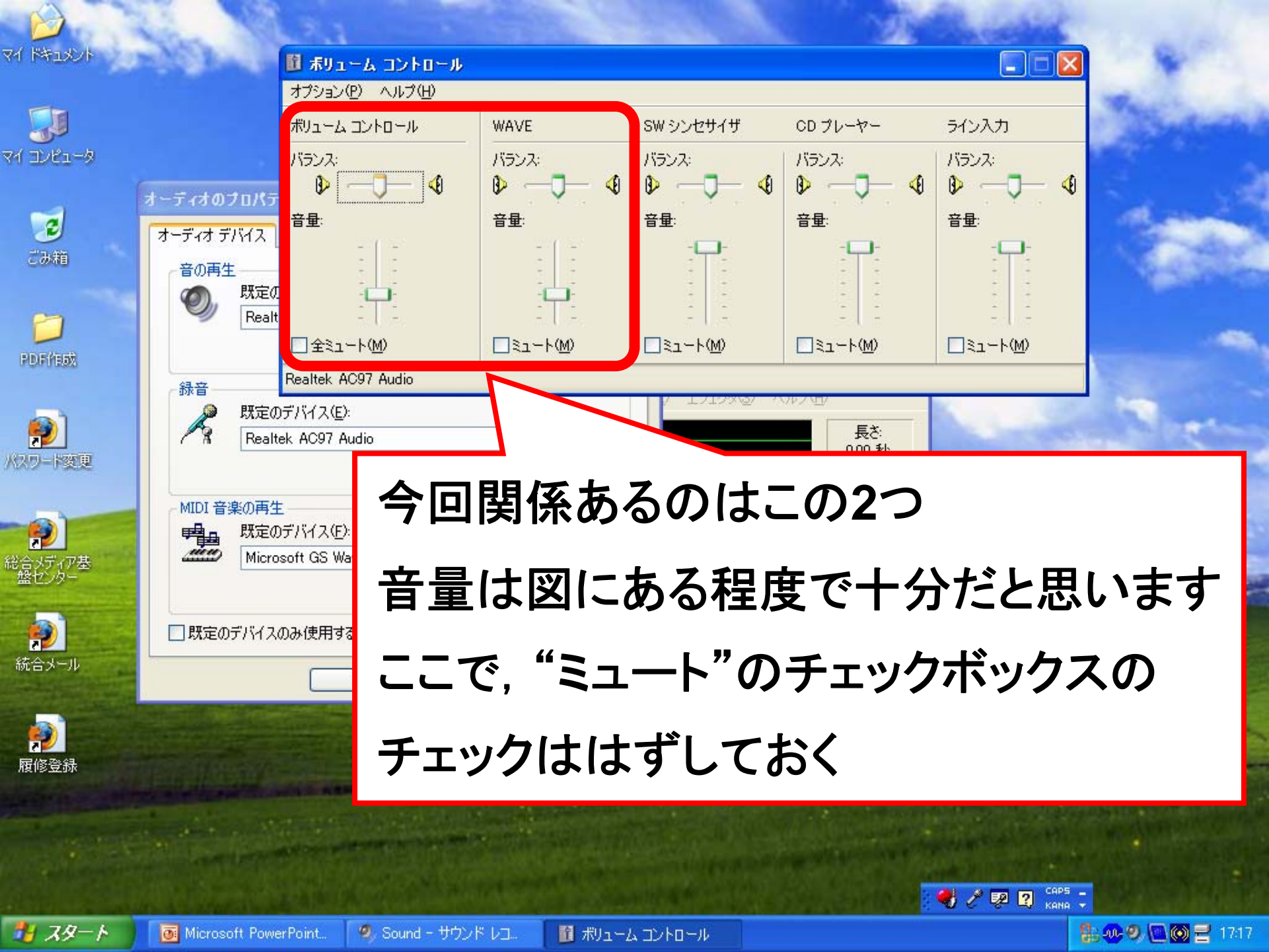
音の再生デバイスの音量を選択

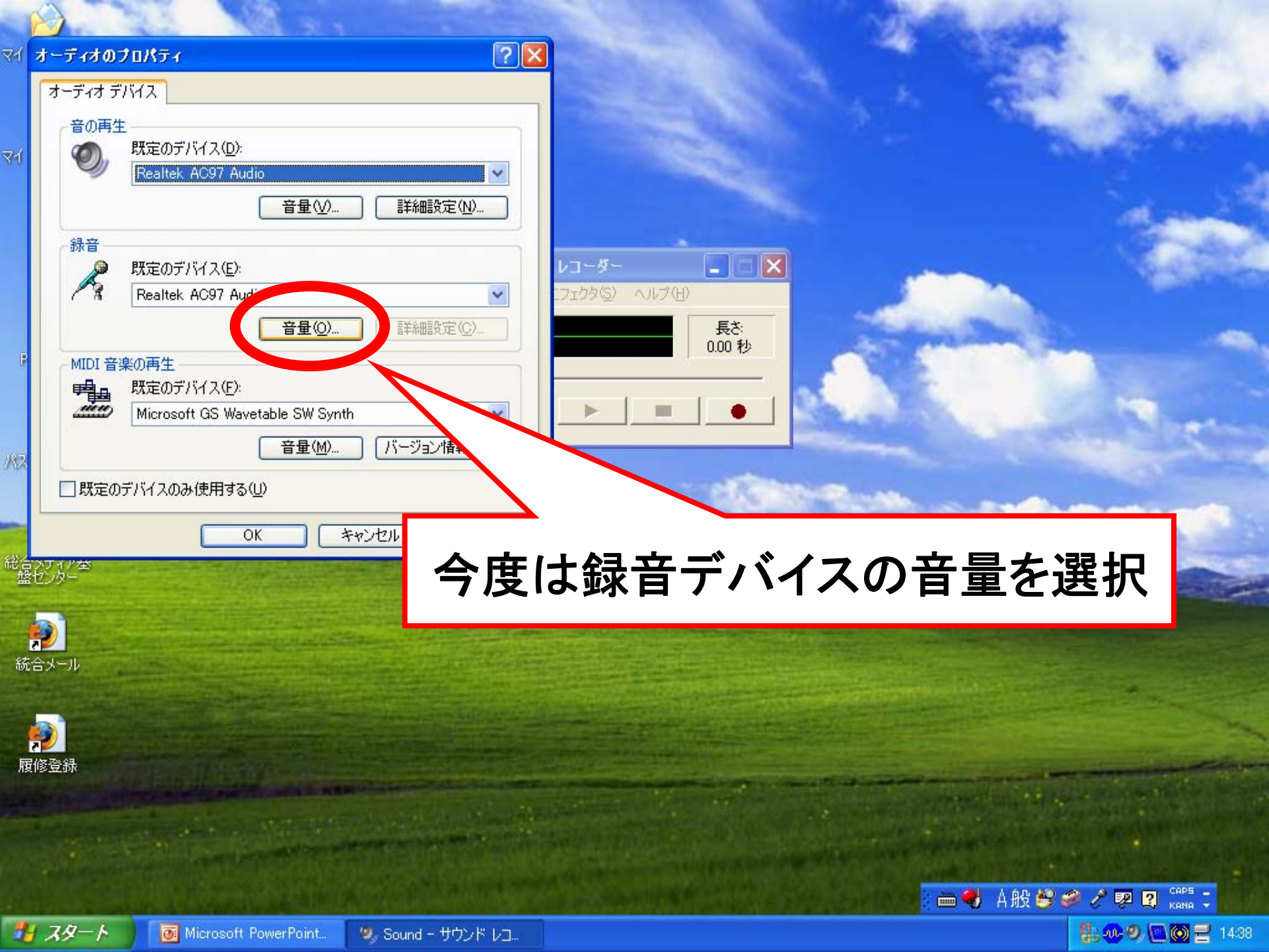


- マイドキュメント
- マイコンピュータ
- ごみ箱
- PDFファイル
- パスワード
- 総合メディアセンター
- 統合メール
- 履歴登録



今回関係あるのはこの2つ
音量は図にある程度で十分だと思います
ここで、“ミュート”のチェックボックスの
チェックははずしておく



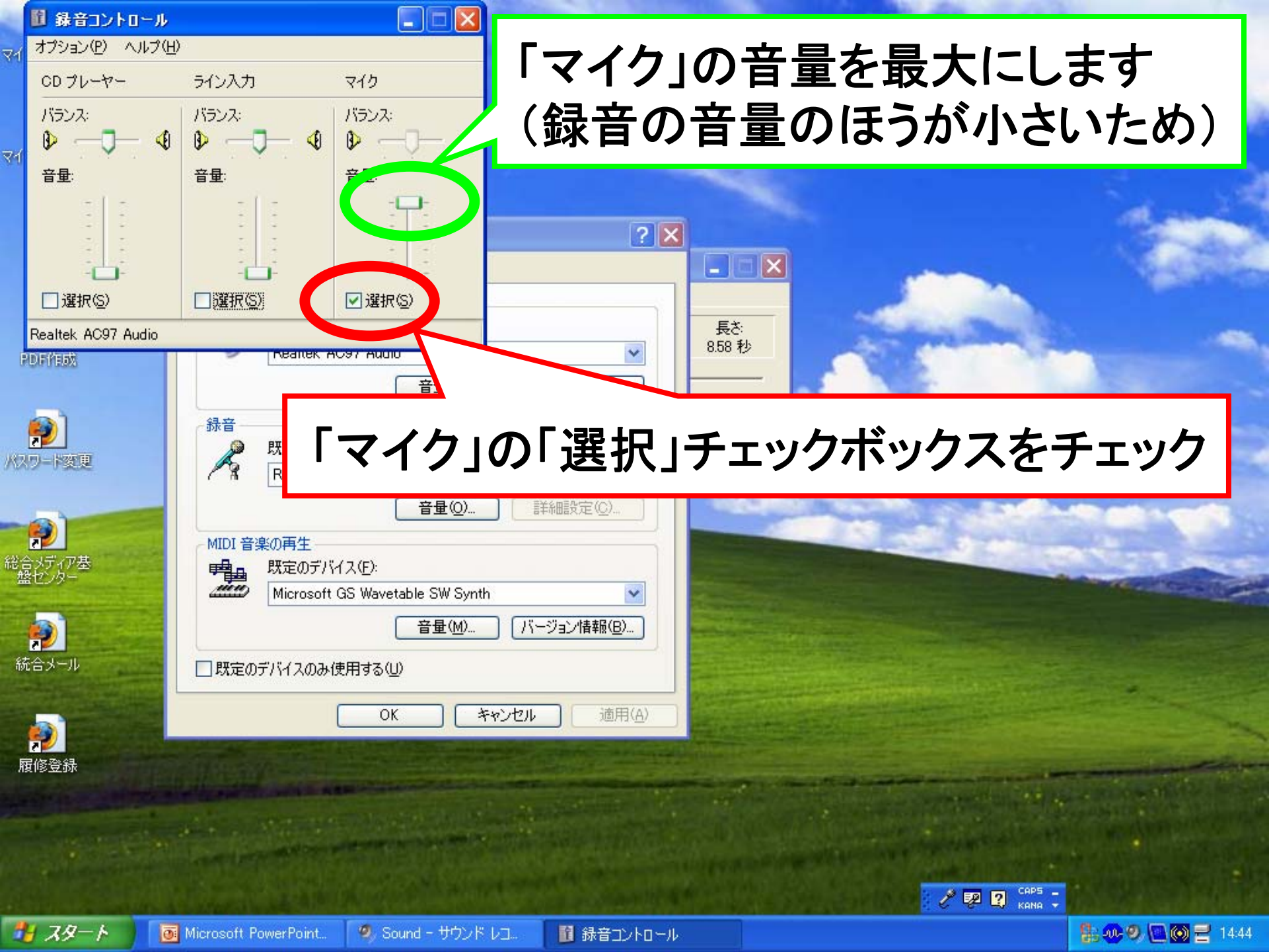
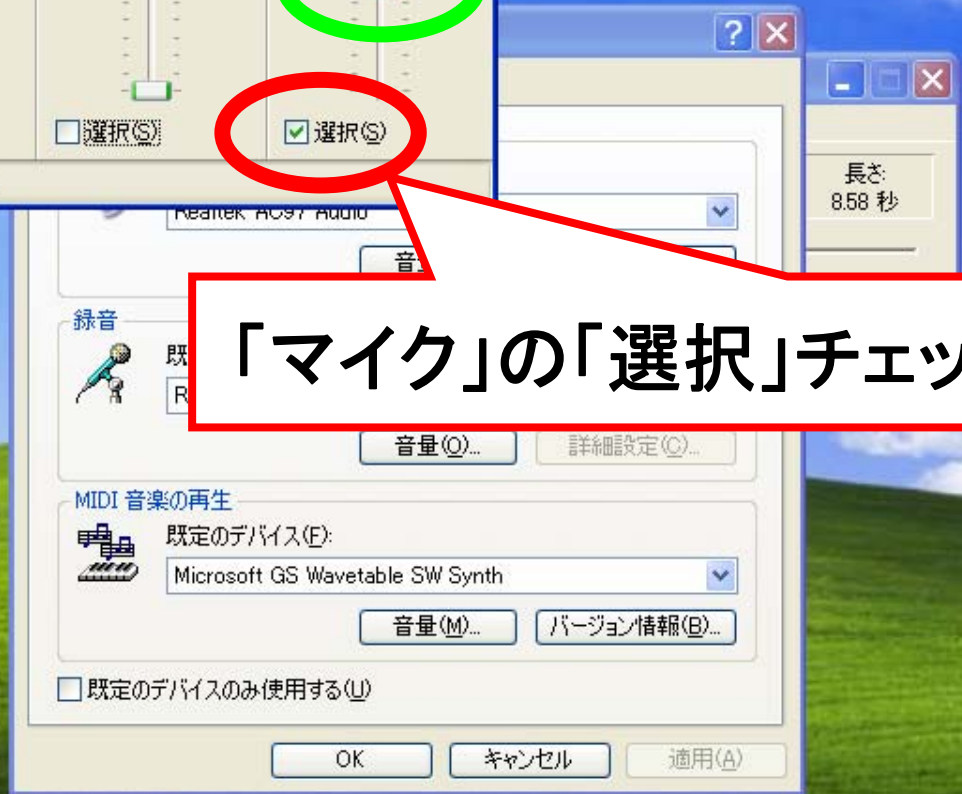


今度は録音デバイスの音量を選択

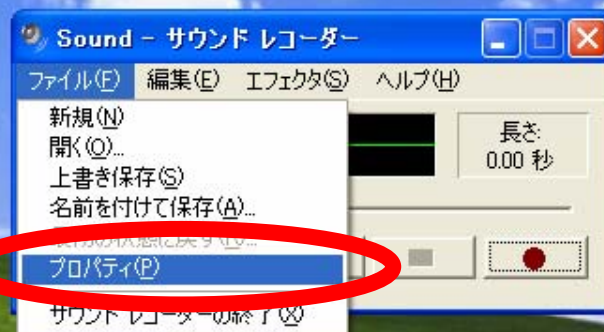


「マイク」の音量を最大にします
(録音の音量のほうが小さいため)

「マイク」の「選択」チェックボックスをチェック

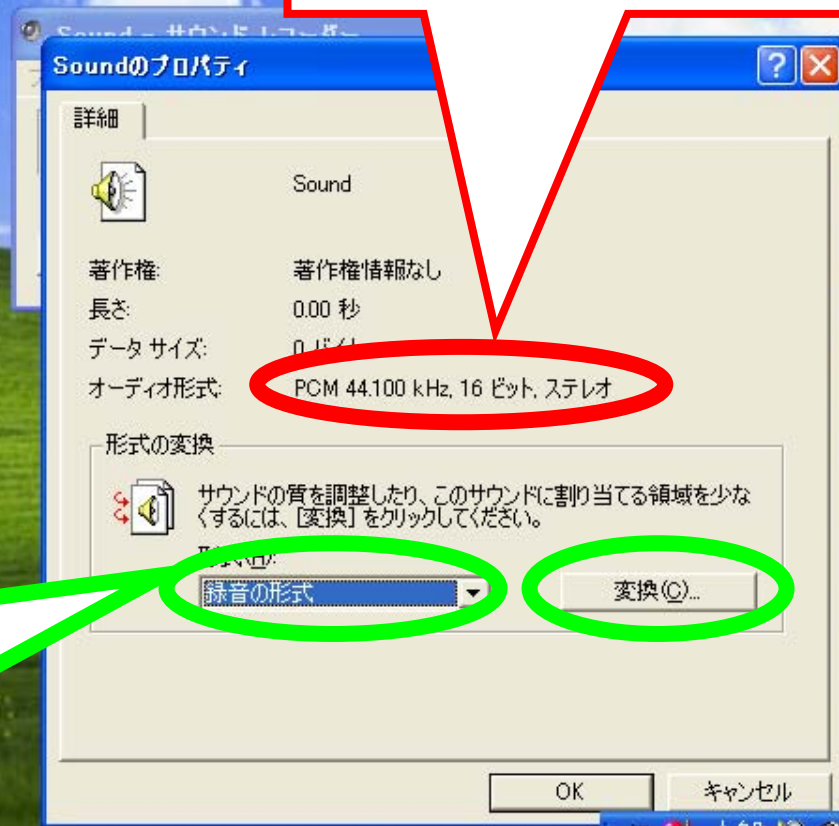


次に録音する音声データの
データ形式の設定を行います

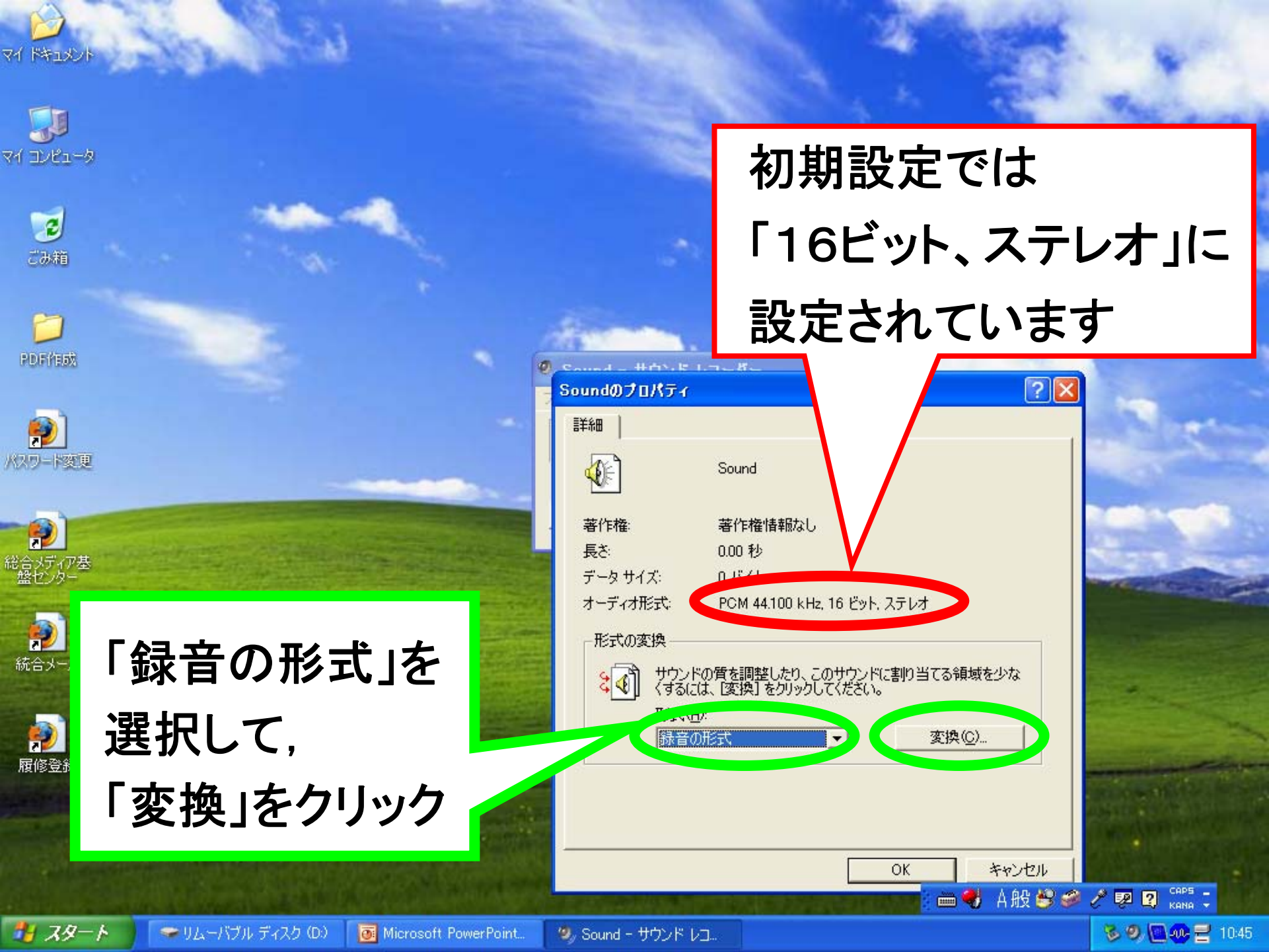


メニューバーの「ファイル」
→プロパティを選択

初期設定では
「16ビット、ステレオ」に
設定されています



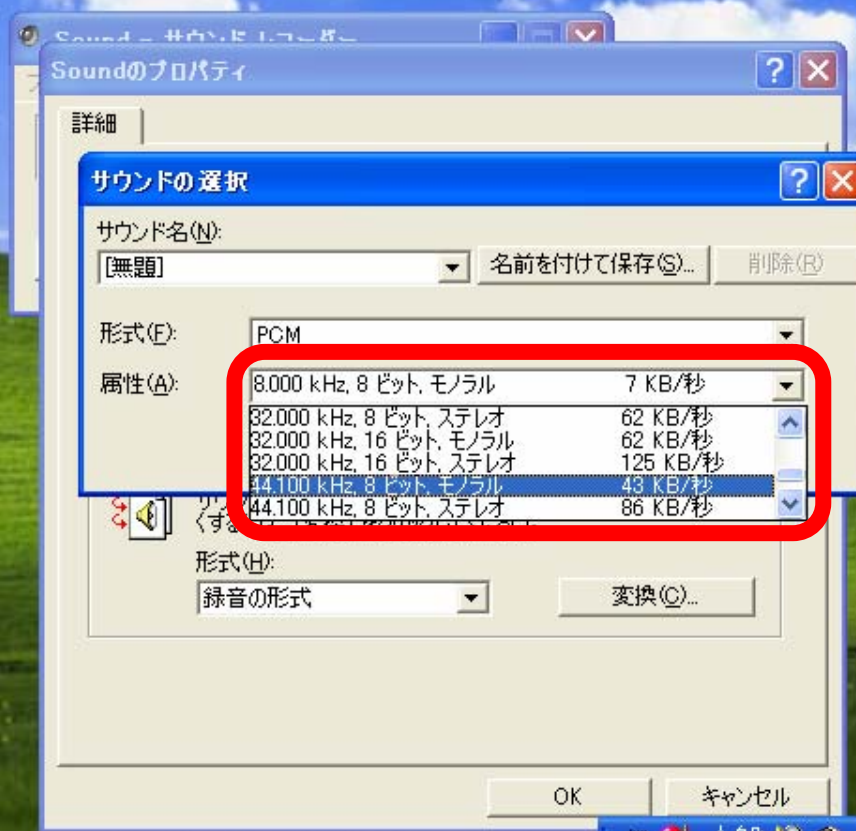
「録音の形式」を
選択して、
「変換」をクリック

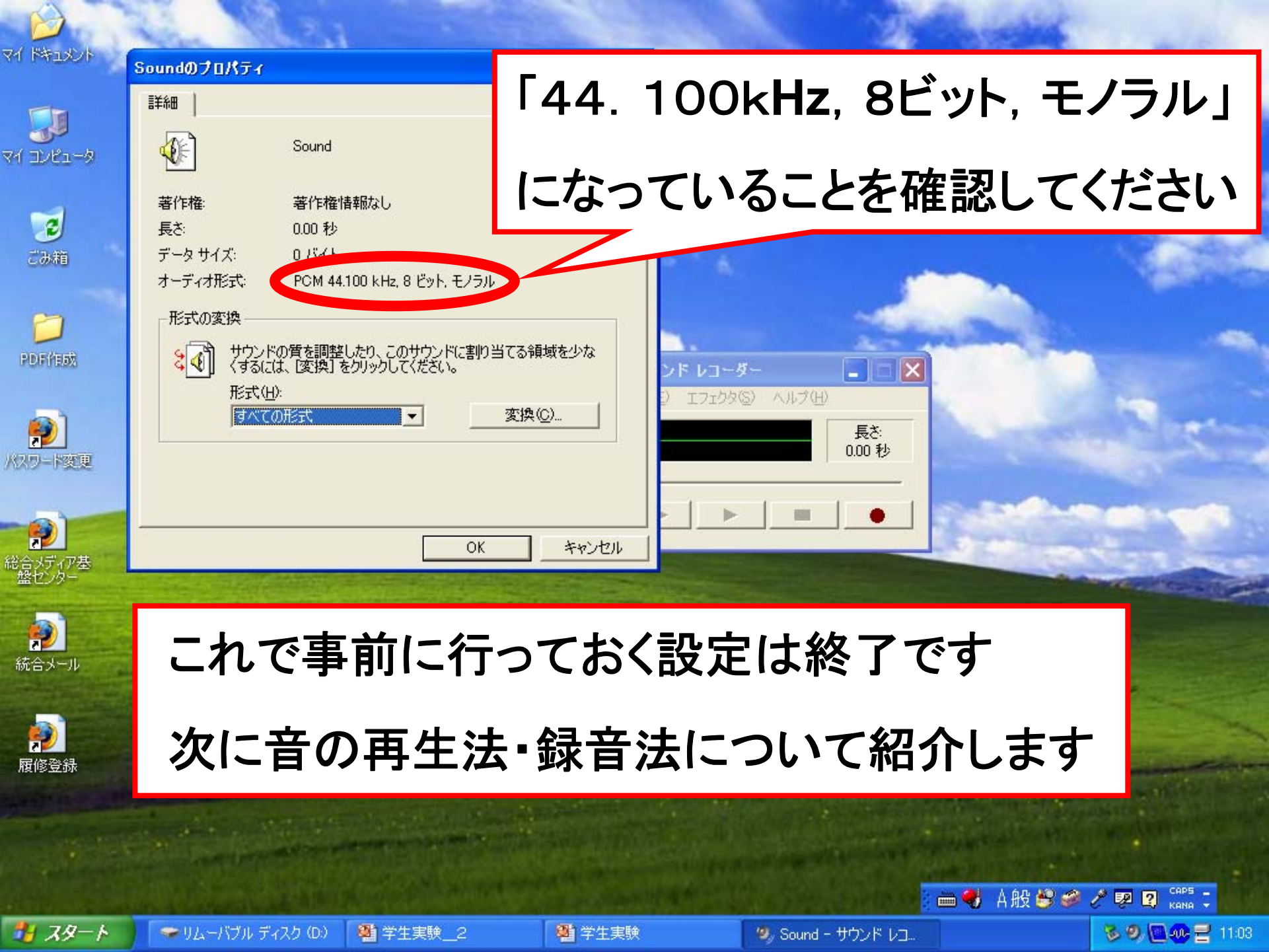


属性を

「44.100kHz, 8ビット, モノラル 43kB/秒」

に設定してください

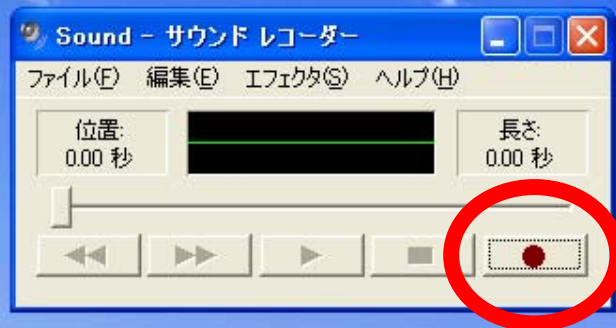




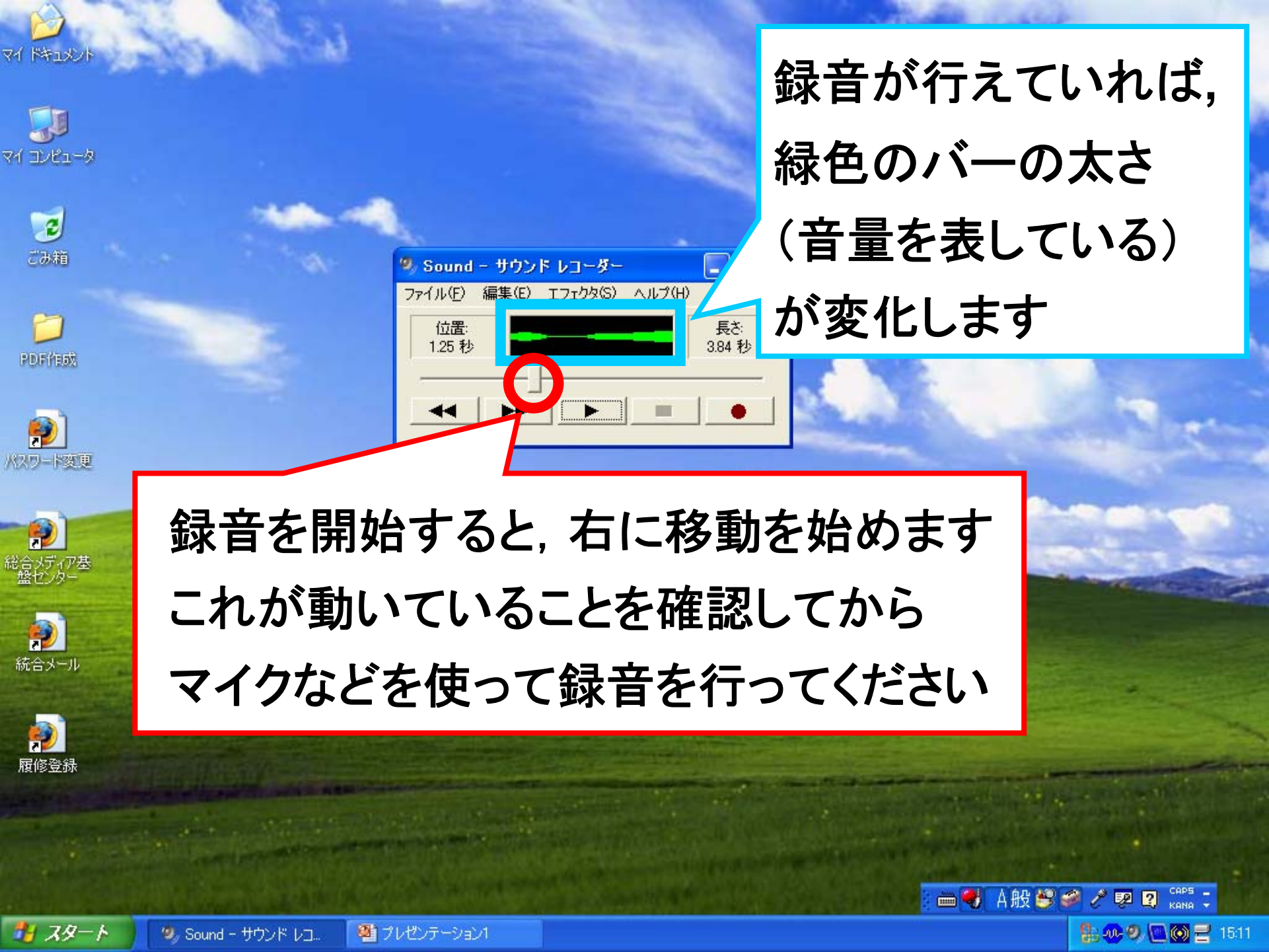
「44.100kHz, 8ビット, モノラル」
になっていることを確認してください

これで事前に行っておく設定は終了です
次に音の再生法・録音法について紹介します

まずは録音法について



サウンドレコーダーのウィンドウにある
右下のボタン(録音ボタン)をクリック
することで録音が始まります



録音が行えていれば、
緑色のバーの太さ
(音量を表している)
が変化します

録音を開始すると、右に移動を始めます
これが動いていることを確認してから
マイクなどを使って録音を行ってください

- マイドキュメント
- マイコンピュータ
- ごみ箱
- PDF作成
- パスワード変更
- 総合メディア基盤センター
- 統合メール
- 履修登録

マイドキュメント
マイコンピュータ
ごみ箱
PDF作成
パスワード変更
総合メディア基盤センター
統合メール
履修登録



録音を終了するときには
停止ボタンを押すと
録音が終了します
(画面はボタンを押した後)

マイドキュメント
マイコンピュータ
ごみ箱
PDF作成
パスワード変更
総合メディア基盤センター
統合メール
履修登録

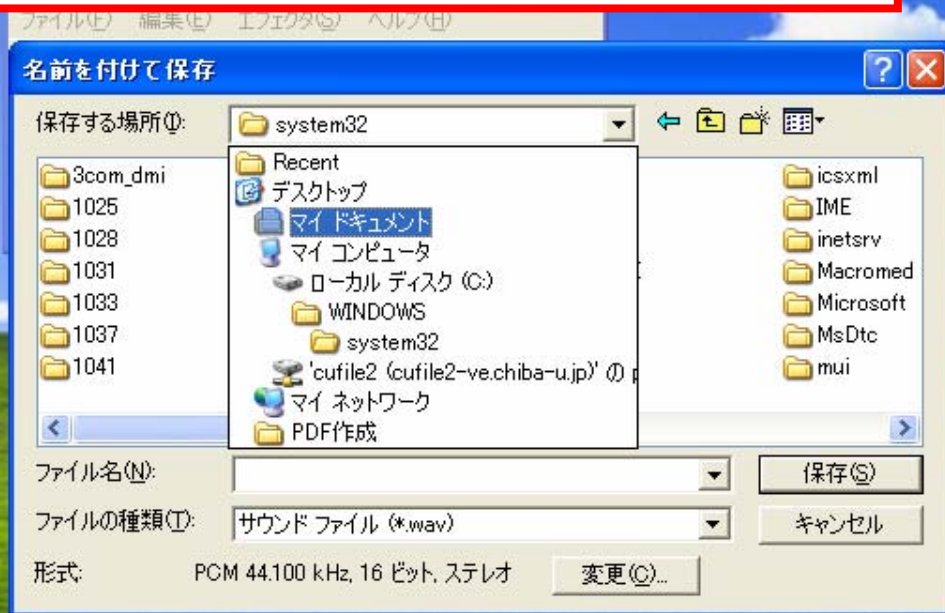


今、録音した音データは再生ボタンを押すことで、再生することができます

デフォルトの設定では

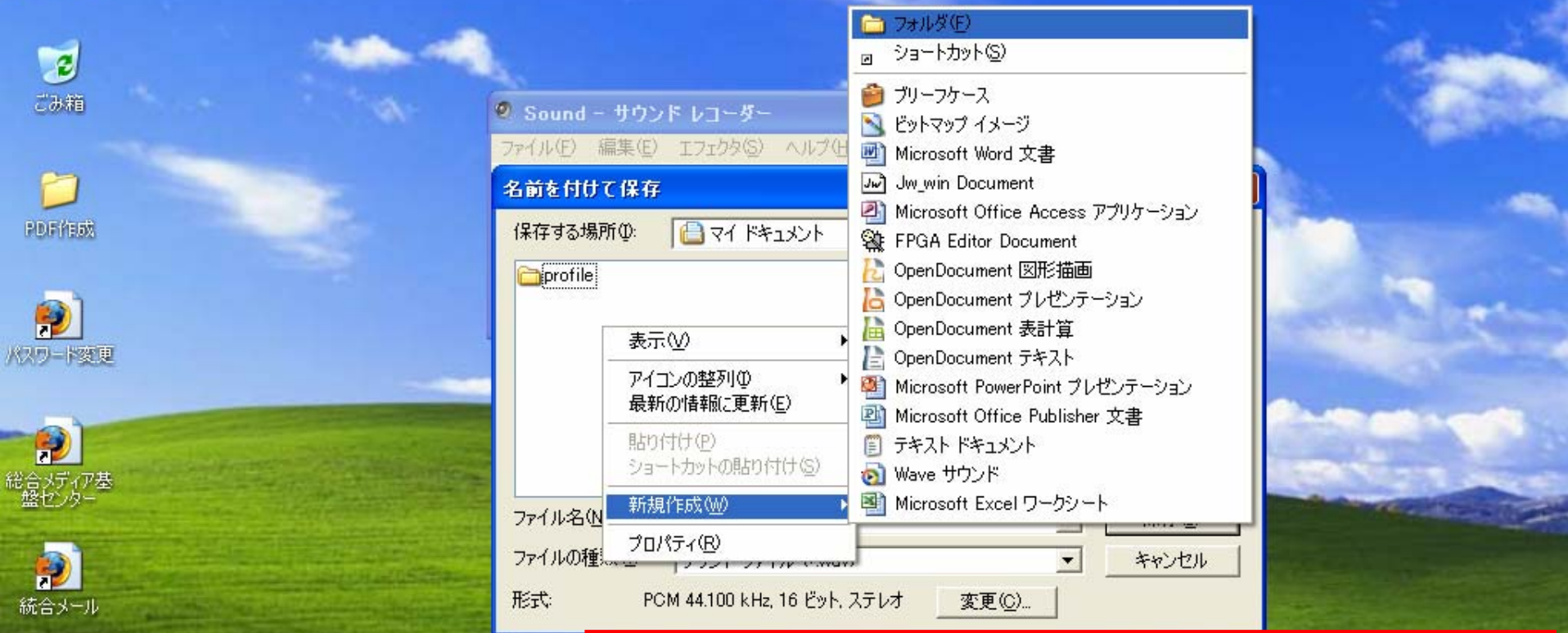
システムへ音データを保存してしまうので、

データの保存先を変更



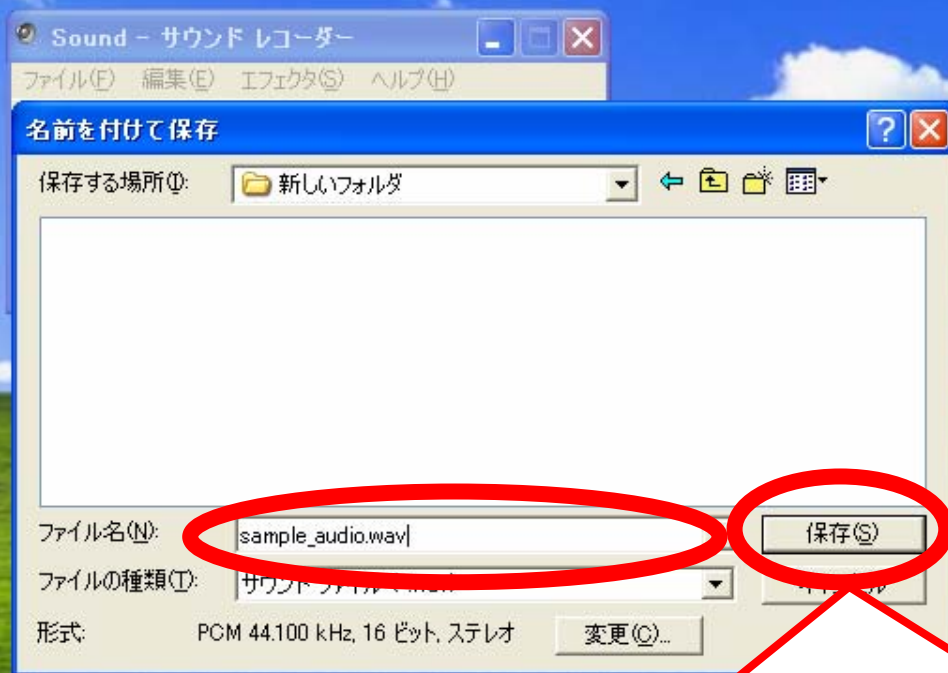
わかりやすいところならどこでもよいのですが、
マイドキュメント辺りが無難だと思います

データを保存する際に、この実験専用のフォルダを作っておくと便利



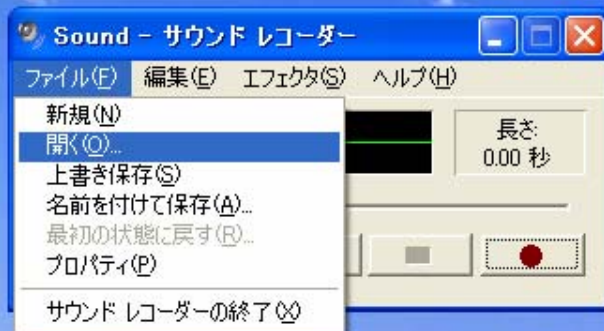
保存画面においても、
右クリック → 新規作成 → フォルダ
を選択することで作成可能

作成したフォルダに音データを保存します



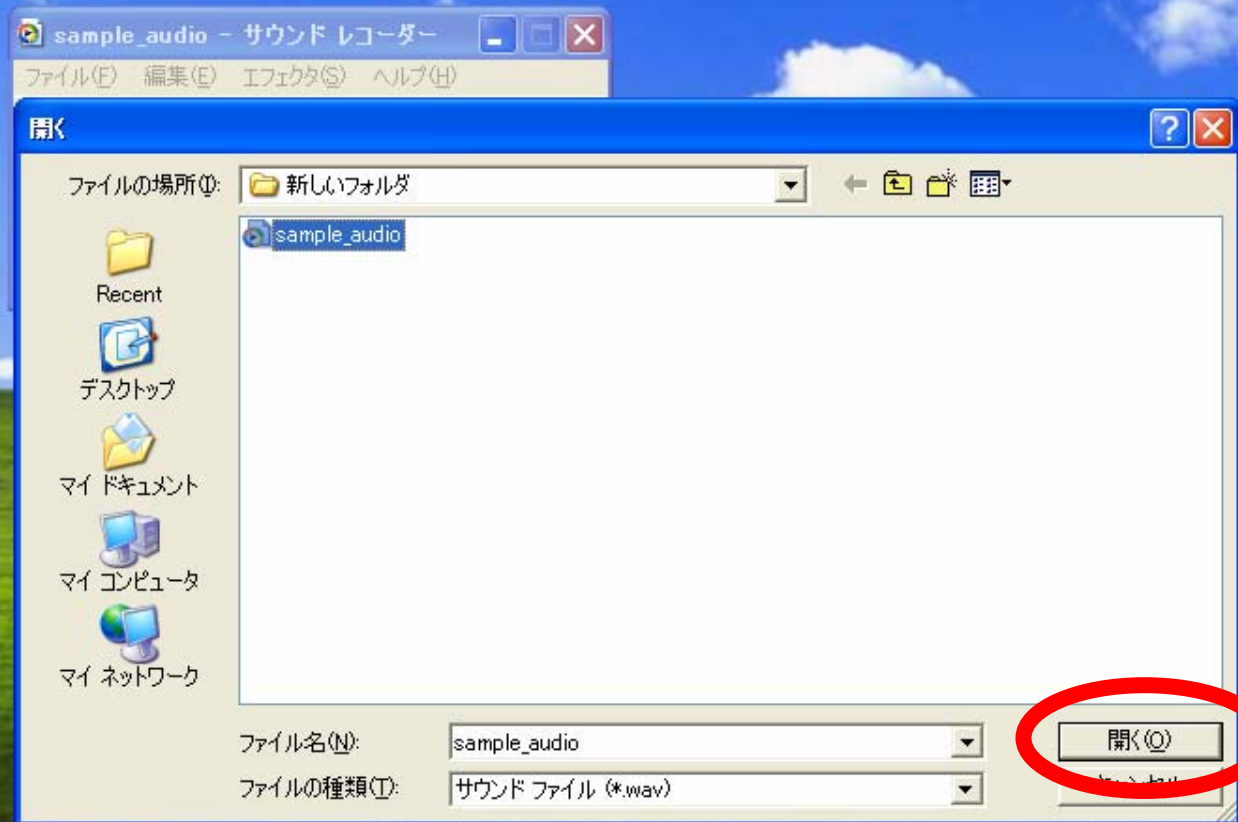
適当にわかりやすい名前を付けて、
保存ボタンをクリック

次に保存した音データやサンプルデータの再生法について説明をします



メニューバーの「ファイル」→「開く」を選択

再生したい音データの
保存場所,ファイルを選択し,「開く」をクリック



マイドキュメント
マイコンピュータ
ごみ箱
PDF作成
パスワード変更
総合メディア基盤センター
統合メール
履修登録



先ほどと同様に
再生ボタンを押すことで、
音データを再生することができます